

かだいとしょ(ぶん) 1・2年

なまえ

ねん

★課題図書を読んで読書感想文にチャレンジ! 夏休みに図書室で貸出します。数に限りがあるので読みたい人は早めにかりに来てね。

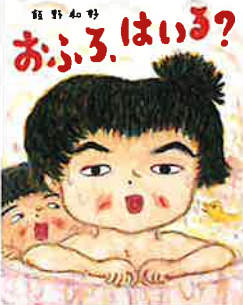
だいたい	ひょうし	みどころ	よみたい ほんに○ をつける
ライオンのく にのネズミ さかとく み雪／作 【中央公論新社】 1,760 円		ライオンのがっこうにてんこうしたネズミのぼく。からだのおおきさも、ことばもしゅうかんもちがうライオンと、なかよくなんてできっこない! そうおもっていたけれど…。ネズミのゆうきが、せかいをかえる!	
ぼくのねこポ ー 岩瀬成子／作 松成真理子／絵 【PHP研究所】 1,430 円		ひろったねこが、てんこうせいのもりくんがかっていたねこかもしれないときづきます。でも、ねこをてばなしたくないのもりくんのねことはみとめたくありません。じぶんのきもちとむきあい、たいせつなことにきづいていくおはなしです。	
ともだち リンダ・サラ／作 ベンジー・デイヴィス ／絵 しらいすみこ／訳 【ひさかたチャイルド】 1,760 円		「さんにんいっしょ」になった、ぼくたち。うれしかったり、かなしかったり、ことばにできないようなきもちがうまれることもあるけれど、あせらないでだいじょうぶ。ともだちとのかかわりのなかでうまれるかんじょうをていねいにかいたものがたり。	
ワレワレはア マガエル 松橋利光／文・写 真 【アリス館】 1,870 円		「カエル」ってきくと、どんなカエルをおもいうかべる? めがぴょこんとでて、きみどりいろの…そう、ワレワレ、アマガエル! からだのとくちょうや、たまごからおたまじゃくし、カエルへのだいへんしん。おどろきのせいたいをたのしくおとどけします。	

していとしょ(が) 1・2年

なまえ

ねん

★^{していとしょ}指定図書^よを読んで^{どくしょかんそうが}読書感想画にチャレンジ! ^{なつやす}夏休みに^{としょしつ}図書室で^{かしだし}貸出します。 ^{かず かぎ}数に限りがある^よので^{ひと はや}読みたい人は早め^{ひと はや}にかりに来てね。

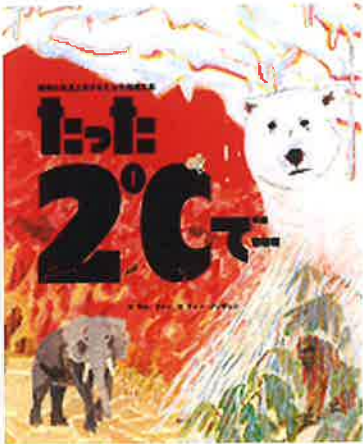
だいめい	ひょうし	みどころ	よみたい ほんに○ をつける
おふろ、はい る? 飯野和好／作 【あかね書房】 1,540 円		「みんなは、どんなおふろに、はいってる?」。おとなからこどもまで、さまざまなひとがおふろにはいっているすがたを、 ^{いいのかずよし} 飯野和好がユーモラスにかきます。さまざまなおふろのスタイル、れきしもありこみ、おふろのたのしさ、きもちよさ、にほんのおふろぶんかのゆたかさをつたえます。いつもみじかにある「おふろ」をテーマにしているので、ちいさなこからおとしよりまで、たのしめます。よみおわたあと、「ああ、おふろはいりたい!」とおもえるえほんです。	
かいじゅうのす むしま 谷口智則／作 【アリス館】 1,760 円		かいじゅうのすむしまでは、おおあめがふると、かいじゅうがおおきなかさ ^{かさ} をさし、ひでりがつづくしまにあめをふらせ、しまをまもっていた。でも、じゅうみんはきづかなかった。そんなあるひ、となりのしまからミサイルがとんできた。かいじゅうは、ミサイルをじぶんのからだ ^{からだ} でうけとめたが、あらずいはおさまらなかつた。かいじゅうは、しづかにたおれてうごかない……。このあと、きぼうにみちたラストでおわります。いろいろなことをかんがえるきっかけになるえほん。	
キッチンカー です オームラトモコ／ 作・絵 【教育画劇】 1,540 円		プップー。じどうしゃがやってきました。でも、ただのじどうしゃではありません。キッチンカーです。パトカーやしょうぼうしゃやミキサーしゃもやってきて……。なんとやっぱりキッチンカーです!! からさのえらべるカレーやさんに、こだわりスープのラーメンやさんにピザやさん、メニューもいっぱい!! ーさあ、あなたはどれがたべたい? にんきののりものがつぎつぎキッチンカーにへんしんするえほん。	
ひみつのとっ くん 工藤純子／絵 田中六大／絵 【金の星社】 1,430 円		ぼくはこうえんにいった。さかあがりのれんしゅうをしようとしたとき、ぐっちゃんにこえをかけられた。「さかあがりなんてかんたんだよ」 ぼくはあたまにきてはしってかえった。よくよくじつもれんしゅうしたが、できない。そのときぶきみなおとがした。ぐっちゃんがけんばんハーモニカのれんしゅうをしている。「けんばんハーモニカなんてかんたんだよ」 ぼくはハツとした。ぐっちゃんとぼくはこうえんでれんしゅうしてからとうこうするようになった。あるあさ、ゆいちゃんが「なんでまいあさいっしょなの?」とおこっている…。	
みつばちさん のティールーム ヘイリー・パレット／ 文、アリソン・ジェイ ／絵 【徳間書店】 1,980 円		みつばちさんのティールームは、ぎょうれつのできるにんきのおみせ。ケーキにパイ、タルト…おいしいおかしをいただきながら、ゆったりとおちやのじかんをたのしめます。ところがあるひ、キッチンではたらくてんとうむしたちがみんなとんでいってしまいました。てがたりず、キッチンはめちゃくちゃ。こまってしまったみつばちさんをたすけたのは…? ともだちをおもうきもちをかくあたたかいえほん。おいしそうなおかしもたくさんとうじょう!	
ネズネズのおえ かき nakaban／著 【文溪堂】 1,650 円		ここはえかきのネズネズのいえ。きこえてくるみずのおとやおいしそうなパンのにおい。みじかなものからイメージをふくらませて、うたいながらどんどんキャンバスにかきすすめていくネズネズ。うたとともにキャンバスにひろがるそうぞうのせかい。いったいどんなえががえあがるでしょう? よんだあとは、みなさんもネズネズのように、うたいながらおえかきしたくなるかもしれませんね。	

かだい図書(文) 中学年(3・4年)

なまえ

年

★課題図書を読んで読書感想文にチャレンジ! 夏休みに図書室で貸出します。数に限りがあるので読みたい人は早めにかりに来てね。

だいたい	ひょうし	みどころ	読みたい 本に○を つける
ふみきりペンギン おくはらゆめ／作・絵 【あかね書房】 1,430 円		しょうさん 小三のゆうとは、ふみきりの前でペンギンたちにばかにされて落ちこんでいる。「ふつうって、なんだろう?」という問いのこたえを、むりに決めつけず、大げさに気にせず、「自分らしさ」を認めていく、やさしい物語。	
バラクラバ・ボーイ ジェニー・ロブソン／作 もりうちすみこ／訳 黒須高嶺／絵 【文研出版】 1,540 円		バラクラバ・ボーイがやってきて、たいくつな毎日は一変! 個性豊かな仲間たちが巻き起こす、笑いとう友情の青春物語。"みんなと違う"を受け入れたとき、予想もしなかった驚きと感動の結末が待っています!	
たった2℃で… 地球の気温上昇が もたらす環境災害 キム・ファン／文 チョン・ジンギョン／絵 【童心社】 1,980 円		きおん 気温が2℃上がったらどうなると思う? 人間も、植物も、陸や海の動物たちも…地球でくらす生き物みんなの命があぶなくなるんだ。もうこれ以上、地球の気温をあげないために、わたしたちにできることは?	
ねえねえ、なに み 見てる? ビクター・ベルモント ／絵・文 金原瑞人／訳 【河出書房新社】 1,793 円		かがくしゃ 科学者のママ、ゲーム好きのパパ、おんがくか 音楽家のおじさん…同じ場にいても、見ているもの、その見え方は全く違う。食卓を囲む家族の異なる世界を描く、多様性と共感について知るユニークな絵本。	

してい図書(画) 中学年(3・4年)

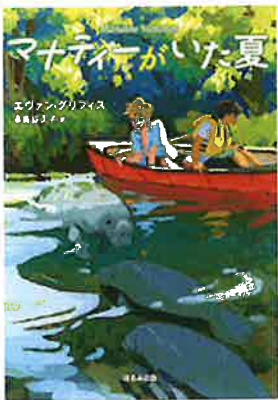
なまえ

年

★指定図書を読んで読書感想画にチャレンジ!夏休みに図書室で貸出します。数に限りがあるので読みたい人は早めにかりに来てね。

だいいい	ひょうし	みどころ	読みたい本に○をつける
ゆきまど 雪窓 安房直子／文 【あすなろ書房】 1,650 円		やまのふもとに村に「雪窓」というおでんの屋台がでました。ある晩、タヌキがやってきておでんを注文します。タヌキは毎晩くるようになり、この店を手伝うようになりました。店主は妻と娘をなくして一人ぼっちだったので、タヌキがきてくれることで寂しさがまぎれました。雪がつもった晩のこと、死んだ娘にそっくりな若い娘がやってきたのですが、手袋を忘れて帰ります。店主が娘を思う気持ちがじんわり伝わるお話。	
AI ロボット、 ひと月貸します! 木内南緒／作 【岩崎書店】 1,320 円		我が家に AI ロボットがやってきた。名前はエイト。ぼくにそっくり。そしてぼくよりうんと優秀!最初はいろんなことをやらせてうれしかったけど、だんだん不安になってきて…。涙と笑いのか一月が過ぎて、その日は来てしまった。心通うはずのないロボットとの確かな心の交流を描いた、胸が熱くなる作品。	
ジャージー 牛のサンちゃん 佐和みずえ／作 【新日本出版社】 1,540 円		ここは大分県にある放牧場の宝牧舎。「ミルクが出なくても、いずれ食肉になろうとも、生きている間は幸せでいてほしい。」その思いで、サラリーマンだった竜馬さんと加奈さんが夫婦ではじめました。その宝牧舎に引き取られたジャージー牛のサンちゃん。肉屋さん、野菜農家、料理人など、色々な人たちがサンちゃんの幸せを考えてくれています。「食すること」や「動物の命」に「ありがと」って伝えたいお話です。	
みんな、空 とべる ジャクリーン・ウッドソン／作 【汐文社】 1,980 円		その年、わたしたちは空をとべるようになった...わたしたちよりまえにきた人たちのようにじゆうにー主人公たちはつらいとき、まわりから受け入れられないとき、はるか先祖の古い知恵を思い、心の中で空をとびます。さまざまなルーツの人が生きるアメリカで、日本で、この本のメッセージがひとひとのかきねとびこえるためのヒントとなるかもしれません。過去に生きた人のことを思い、いまの問題を考えることのできる絵本です。	
どんなイチゴも、みんなかわいい 葦原かも／作 【童心社】 1,320 円		アヤは想像力ゆたかな女の子。ミズクやフクロウの図鑑を見るのが大好きで、目立つことや、女の子っぽくふるまうのは苦手です。そんなアヤの日常に大きな事件はおきないけれど、日々いろいろと考えることがあるのです。小学3年生の女の子の心情をユーモラスに語る3つのエピソードを通して、自分は自分のままでいいのだと理解し、少しずつ成長していく姿が爽やかに描かれます。	
「はやく」と 「ゆっくり」 チャン・ホイチョン／文 【光村教育図書】 1,540 円		ぼくは毎日、目が回るようにいそがしい。パパとママは、いつも「はやく」って言う。でも、おじいちゃんとおばあちゃんは、いつも「ゆっくり」って言う。みんな、「そうしないと たくさんのおもちゃをなくしてしまうよ」って言うんだ。「はやく」と「ゆっくり」にはさまれて、ぼくは、どうすればいいのかわからない。ある日おじいちゃんが言った。「はやくても ゆっくりでも かまわない。自分のリズムを見つければいいんだよ」って。	

★課題図書を読んで読書感想文にチャレンジ!夏休みに図書室で貸出します。数に限りがあるので読みたい人は早めにかりに来てね。

題名	表紙	みどころ	読みたい 本に○を つける
ぼくの色、見つけた! 志津栄子/作 末山りん/絵 【講談社】 1,650 円		「色覚障がい」を隠して生活する信太朗。赤いトマトや焼けた肉が見分けられず、困ることもたくさん。しかし、自分の見え方に寄り添って考えてくれる担任の先生に出会い、「自分の世界の見え方の特別さ」に気づいていく。	
森に帰らなかったカラス ジーン・ウィリス/作 山崎美紀/訳 【徳間書店】 1,760 円		少年と動物とのふれあいをえがく、心に残る物語です。ロンドン動物園の元主任飼育員の少年時代の実話に基づいています。舞台は1950年代後半。父親の兵士時代の心の傷にもふれ、命についても深く考えさせられるお話しです。	
マナティーがいた夏 エヴァン・グリフィス/作 多賀谷正子/訳 【ほるぷ出版】 1,760 円		物語は、マナティーが泳ぐ美しい場面から始まる。主人公にとってマナティーは、祖父の思い出で、親友との大発見で、心を落ちつかせてくれる存在。その保護のためにさまざまな人と関わり、奮闘する姿が胸を打つ感動作。	
とびたて! みんなのドラゴン: 難病 ALS の先生と日明小合唱部の冒険 オザワ部長/著 【岩崎書店】 1,650 円		内気な女の子マナミが出会ったのは、難病 ALS をわずらう先生だった。新米顧問の先生と合唱部の子どもたちはそれぞれの想いをかかえ、合唱コンクールの全国大会金賞をめざす。1年間の冒険を描いたノンフィクション。	

★指定図書を読んで読書感想画にチャレンジ!夏休みに図書室で貸出します。数に限りがあるので読みたい人は早めにかりに来てね。

題名	表紙	みどころ	読みたい 本に○を つける
ぼくのころが うたいだす! アンドレア・ペイティ ー／作、デイヴィッ ド・ロバーツ／絵 【絵本塾出版】 1,760 円		アーロンにとって、文字を読むことはとても難しいことでした。アーロンの脳は「発話された音」と、「書かれた文字」や「ことば」を結びつけることがなかなかできないのです。でも、宿題で出された作文に一生懸命に取り組んで、勇気を出してクラスメイトに発表した時、アーロンに変化が現れます…。ひとにはそれぞれに得意なことや苦手なことがあり、識字障害はアーロンの個性の一部にすぎないのです。	
どすこい! 森埜こみち／作 佐藤真紀子／絵 【国土者】 1,540 円		春の相撲大会、小学生離れたライバルと対戦して、こてんぱんに打ちのめされた凡と健太。秋の大会で絶対にリベンジしたい2人は、元力士のじいさんに相撲を教えてもらおうと駄菓子屋「わしや」に行くがまったく相手にされず、知恵を絞る。無骨な元力士とのやり取りにとまどいながらも、少年たちは心を通わせ、秋の大会まで駆け抜けていく。一瞬の勝負に全力を賭けるその姿に、相撲を知らない読者ほど胸が熱くなる物語。	
じいちゃんの やまごや 山小屋 佐和みずえ／作 カシワイ／絵 【小峰書店】 1,650 円		東京で生まれ育った小学6年生の航太。ある日、父親と大げんかになり、四国のじいちゃんと暮らすことになった。ところが、航太のじいちゃんは、村の人に変わり者扱いされるほど頑固で偏屈。そんなじいちゃんと、電気も、トイレもない、もちろんスマホも圏外の山小屋での二人暮らし……。便利な東京での暮らししか知らない航太に、たえられるのか!? 四国の豊かな自然に恵まれた里山でのサステナブルな暮らしが体験できる1冊。	
おこなわ跳 びません 赤羽じゅんこ／作 マコカワイ／絵 【静山社】 1,540 円		左足にハンディをもつ双葉が、おこなわ大会には出ないと宣言し、クラスメイトたちはざわつきます。「引きとめないなんてつめたいよ」「それってやさしさの押しつけじゃね?」「跳ぶ以外のやり方で参加は?」「おれだって跳びたくないけど?」と、立場の違いからぶつかる本音ももつともで…。できることも考え方もちがう仲間と、どうしたら一緒にやっていけるんだろう? とことん考えた7人の自分たちのための作戦が楽しく優しい物語。	
わたしの名前は オクトーバー カチャ・ベーレン／ 作、こだまともこ／訳 【評論社】 1,760 円		父さんと二人、森で半分自給自足のよう生きてきた少女オクトーバー。自分が「野生」であることをほこりに思っていた。が、十一歳の誕生日に、父さんがケガをして入院し、「母親とかいうひと」と都会で暮らすことになる。街の生活になじめず、全力で抵抗するオクトーバーだが、やがて友だちとよべる子に会い、都会の中に大好きな場所も見つけ、かたくなだった心が開いていく。	
かなたのif 村上雅郁／作 げみ／絵 【フレーベル館】 1,650 円		ぼくらが夢見ることは、ぜんぶぜんぶ、ほんとうのこと——夢と現実のあわいにゆれる、ひと夏のガール・ミーツ・ガール! 友だちのいない香奈多と、友だちをなくした瑚子。ある夏、秘密の場所で奇跡的に出会ったふたり。願いがかなう「虹のしずく」を探して、ひとりぼっちの誰かの前に現れる黒ネコ、ドコカの物語を瑚子は香奈多と分かち合う。それぞれの物語をなぞるように重ねた「もしも」のはてで、ふたりが見つけた宝物とは?	